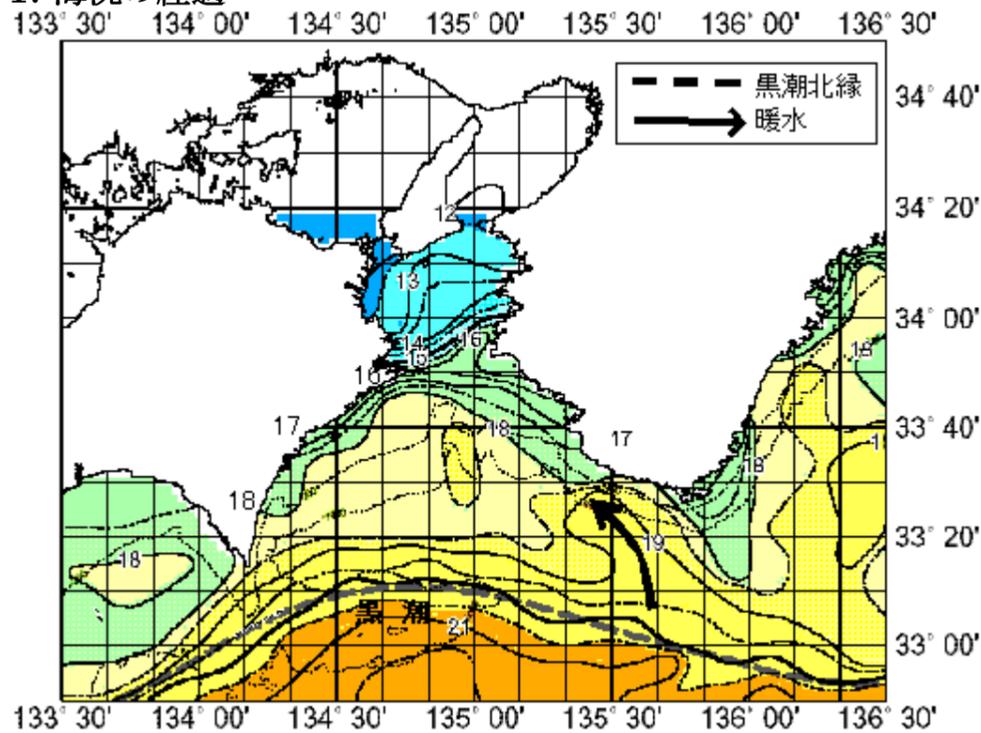


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.1.19)を示した。

黒潮は、先週に引き続き離岸傾向であり、潮岬沖、室戸岬沖でやや離岸している。

室戸岬以西の黒潮も、都井岬沖と足摺岬沖でやや離岸している。

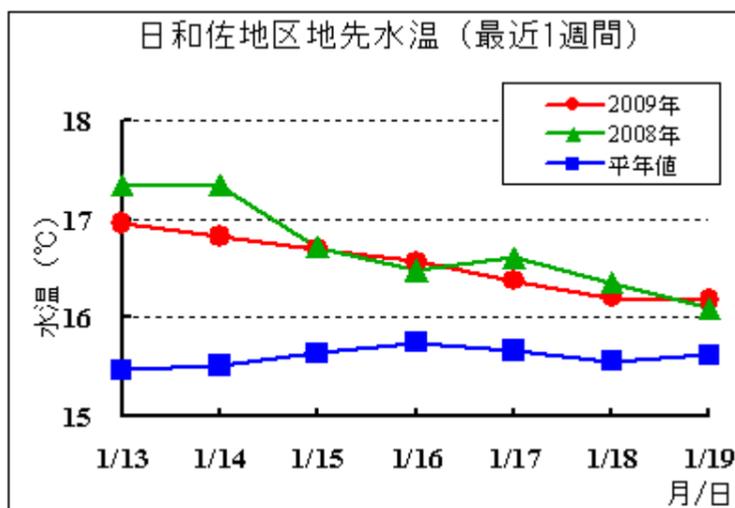
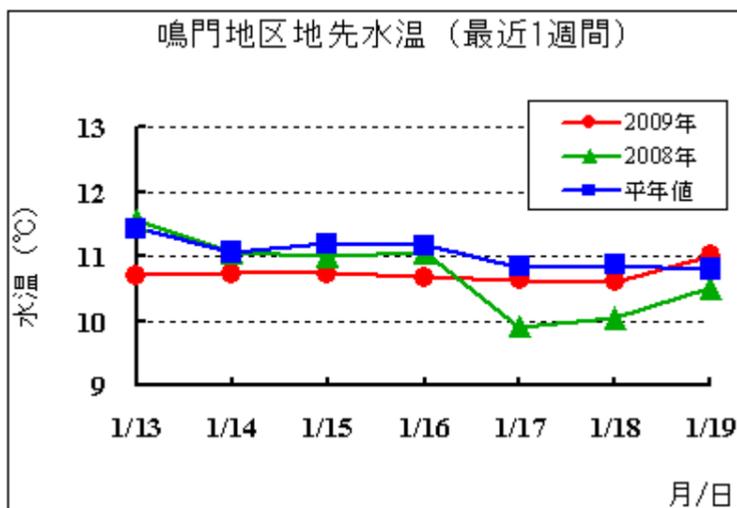
黒潮本流の表面水温は20～21℃台である。

表面水温は播磨灘が11～12℃台、紀伊水道が12～16℃台、外域が16～18℃台である。

紀伊水道外域は、潮岬沖から黒潮系暖水の波及を受けている。先週まで、海部沿岸で確認されていた内海系水南下は、確認できない。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の10.6～11.0℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の16.2～16.9℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の16.2～17.6℃で推移した。



2. 漁況の経過

黒潮は離岸傾向で推移したものの、暖水波及の影響から、回遊性の魚類の水揚げが多かった。

延縄:海部沿岸で、カワハギが0.5トン(1日1隻当たり53kg)、大主体にサバフグが0.4トン(同15kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが0.6トン(同57kg)、カタクチイワシが9.6トン(同292kg)、小主体にタチウオが0.4トン(同48kg)、小主体にマアジが0.6トン(同22kg)、マイワシが1.4トン(同119kg)、マルソウダが0.2トン(同8kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.4トン(同10kg)、小主体にケンサキイカが0.3トン(同45kg)、小主体にゴマサバが0.3トン(同84kg)、大主体にスルメイカが2.1トン(同352kg)、大主体にタチウオが15.7トン(同5.2トン)、小主体にマアジが0.4トン(同52kg)、マルソウダが0.7トン(同93kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.7トン(同8kg)中主体にカツオが0.3トン(同14kg)、大主体にゴマサバが1.2トン(同80kg)、タチウオが1.6トン(同39kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 1月12日～1月19日 県下5漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	カワハギ	10	528	53	
		サバフグ	30	435	15	大主体
小型定置網		アオリイカ	57	583	10	
		カタクチイワシ	33	9,638	292	
		タチウオ	9	428	48	小主体
		マアジ	25	559	22	小主体
		マイワシ	12	1,426	119	
		マルソウダ	30	247	8	
大型定置網		アオリイカ	7	385	55	大主体
		ケンサキイカ	6	267	45	小主体
		ゴマサバ	4	334	84	小主体
		スルメイカ	6	2,111	352	大主体
		タチウオ	3	15,749	5,250	大主体
		マアジ	7	365	52	小主体
釣り	マルソウダ	8	745	93		
	アオリイカ	89	688	8	大主体	
	カツオ	21	292	14	中主体	
	ゴマサバ	15	1,206	80	大主体	
		タチウオ	41	1,599	39	

週間予報:

黒潮は、室戸岬と潮岬でやや離岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の11℃台、日和佐地先で「平年並み」の16℃台で推移する見込み。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上